



なみ き

埼玉県議会議員

無所属
県民会議
SAITAMA



並木まさとし

発行者
連絡先

埼玉県議会議員 並木正年
〒365-0038 鴻巣市本町 3-2-19-B
TEL 541-7777 / FAX 543-8000

日頃の活動は
ホームページで!

並木まさとし

検索

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp



県議会ではこれまで県がおこなってきた新型コロナウイルス対策の検証と今後の取り組みについて審査する「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」が設置されています。私も委員の一人として未だ終息が見えない感染症対策に今後も県と力を合わせ取り組んで参ります。

中小企業・個人事業主支援金 第1弾の実績 (4月8日～5月6日まで20日以上休業)

予算	総交付額	申請件数	交付件数	県外や辞退による不交付
121億円	117億5,280万円	58,456件	57,451件	1,005件

中小企業・個人事業主支援金 第2弾の実績 (5月12日～5月31日まで8割以上の休業)

予算	総交付額	申請件数	交付件数	県外や辞退による不交付
53億円	32億710万円	34,289件	32,071件	2,218件

中小企業・個人事業主支援金は関東1都6県で見ると持続化給付金同様に50%以上売り上げが減少した事業所を対象とした県は千葉県のみ。東京都や神奈川県などは休業要請の対象業種のみであった。一方、埼玉県は対象業種を絞ることなく広く支援できたと思うが休業日数が僅かに足りなかった事業者や持続化給付金の非対象事業者が選択できる2つのスキームで支援するべきであった。

東京都では市区町村ごとに累計陽性者数と陽性者現在数がHPで周知されている。本県では県全体の累計者数(うち現在の入院患者数・宿泊療養者数・自宅待機数・調整中・退院または療養終了)のみの情報発信であるため、市町村ごとに周知するべきである。

昨年秋の台風19号で県内の宿泊施設には4,000件のキャンセルがあった。観光や飲食、物産品の影響は非常に大きいため、観光事業の早期回復を図るべきである。

児童・生徒が学ぶ機会を失わないように家計急変世帯の授業料の減免、奨学金による支援を。



テレ玉 NEWS 930

4月末に県内の東西南北の地域で宿泊療養施設を設置できたことが記者会見で述べられた。

しかし、全国で初めて国の施設を借り上げた北部地区の国立女性会館(嵐山町)は契約した5月25日から8月31日まで1億円ちかい予算が投入されているが療養者が0の状況である。陽性者の地域バランスを見て判断するべき。

*現在の宿泊療養施設(5施設)

- *東横 INN つくばエクスプレス三郷中央駅 153室
- *入間第一ホテル 99室
- *東横 INN 浦和美園駅東口 171室
- *加須センターホテル 70室 *パーシモンホテル(新座市)92室

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会における意見・提言

8月25日 財政・組織・情報発信の分野

- ※時間外労働及び総勤務時間の縮減のため職員の増員を図るなど実効性のある働き方改革を進めること。
- ※テレワークについては職員の感染リスクを下げるためにも業務の切り出し、業務の再設計をおこない実施率を着実に上げていくこと。
- ※ホームページを活用しての情報発信は大変重要である。今まで以上に各担当課と連携し県民の不安を解消できる必要な情報を確実に入手できるよう取組を進めること。

8月31日 医療・福祉の分野

- ※陽性者数については市町村ごとの現在数(入院数・宿泊療養数・自宅療養数・調整中・退院または療養終了数)を周知すること。また、依頼のあった自治体だけに情報提供するのではなく県民の平等性を担保するために保健所側から管轄市町村に情報提供をおこなうこと。
- ※ピーク時にあっても各電話相談の応答率が下がらぬよう現状を定量的に把握し、適宜回線を増やし増員を図るなど必ずつながるように取組を進めること。
- ※国の新たな推計に基づき引き続き宿泊療養施設の確保に努め、特に県南部地域での施設確保に注力すること。また、その際には必要に応じて近隣都府県との広域搬送体制を検討すること。

9月2日 教育・雇用・経済の分野

- ※観光分野においては5か年計画の[観光消費額]目標値達成のために回復と拡大に向けた取組を強化すること。
- ※修学旅行や林間学校については実施できるよう努めること。なお、市町村立学校においても的確な支援をおこなうこと。
- ※ICT支援員制度の実施に向けて早急に検討をおこなうこと。
- ※中小企業小規模事業者向けの[新しい生活様式応援支援金事業]等の実施を検討すること。

【9月2日更新】新型コロナウイルスの市内での感染事例について

鴻巣市における陽性確認者の状況（埼玉県鴻巣保健所より情報提供）

現在の鴻巣市における感染者の入院、自宅療養、退院等の状況をお知らせいたします。今後、適宜情報を追加してまいります。**更新時期により、累計陽性者数と下記感染事例数に差が生じることがあります。**

陽性確認者の状況表（令和2年8月31日17時現在）

陽性確認者の状況表

累計陽性者数	現在の患者数	現在の患者数の内訳				退院・療養終了
		入院中	宿泊療養	自宅待機	入院調整中	
28人	2人	0人	2人	0人	0人	26人

(注釈) 上記の表は埼玉県鴻巣保健所からの情報提供に基づくものです。

鴻巣市への提案

市町村別の累計陽性者数はこれまで新聞などで公表されていますが、現在数や内訳については情報がありませんでした。保健所からの情報を基に市HPで公表してはどうか？と提案したところ、早速取り組んでいただきました。

9月定例会【会期日程予定 9月24日(木)～10月14日(水)】

10月2日(金) 県政・知事提出議案に対する一般質問をおこないます



プロフィール

昭和45年鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回こうのす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(23年目)/鴻巣市議会議員2期/埼玉県議会議員2期目/企画財政委員/少子・高齢福祉社会対策特別委員/家族・妻・長女・長男・愛犬レオ